

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援・放課後等デイサービス ヒトツナ総社中央教室			
○保護者評価実施期間	2026年 2月 3日		～	2026年 2月 7日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数)	23
○従業者評価実施期間	2026年 2月 9日		～	2026年 2月 14日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5名	(回答者数)	5名
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 17日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用してくれている子供たちが安心して、いつも笑顔で楽しみに通所してくれていること。	子供たちの笑顔に答えるよう職員も常に笑顔で接し子供たちが安心できる居場所を心がけている	受け入れた時の表情や心情、また体調の把握に心がけ対応を配慮していくべきと感じている。
2	それぞれの職員が自分の強みを生かしながら、日々一人一人に合った支援は何かを研究しスキルアップをしながら取り組んでいる。	職員がそれぞれの思いで子供たちの支援の重要性を感じながら、子供たちが楽しみながら身に着く支援など一人ひとりの職員が熱意をもって取り組んでいる。	それぞれの職員が自分の強みを生かしながら、日々一人一人に合った支援は何かを研究しスキルアップをしながら取り組んでいる。
3	時間が少しでもあれば常に会議や支援に対するの悩みを聞き即改善できるようにしている。また、職員間の情報共有や連携も充実している。	職員同士の意見交換やそれぞれの悩みをみんなで解決することで、自分に置き換えた新たな支援の方法がひらめいたり、子供たちの支援に向けての意欲や飛躍につながっている。	『こどもまんなかに』の視点で、普段よりカンファレンス等を行い支援に活かしている。5領域を念頭に置きここに合わせた支援を心がけている。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援の充実。	参加率向上を踏まえた開催日の設定。・職員の人員確保と会場確保。・保護者の参加を考慮したイベント企画	ヒトツナ総社中央教室もまもなく1年を迎えようとしているので、保護者会で研修会・情報交換また、ペアレント・トレーニングなどの機会を開催していく。
2	ヒトツナ総社中央教室1年を迎え地域の方々への知名度が薄い ため地域との交流の機会が少なかった。 学童クラブや児童館等の交流やイベント参加が少なかった。	固定曜日の利用と利用時間帯により企画する事へ困難さ要する。	地域の方々との交流を深めるために連絡を密にとり交流日程日を確定し工夫しながら取り組みに意欲を示す。
3	療育施設での経験がない職員が多いため専門知識が弱い	積極的に研修に参加したり自分なりの方法で専門知識を習得する努力や意識を高めてもらう。 療育内容に疑問やわからない点が発生した時には後回しにせず即訪ねて修得するようにしている。	4月から理学療法士が配置するため、その専門知識を発揮してもらうとともに待っているノウハウや経験を他職員に共有し、社内研修の場で学びあい質を高めてもらう